

# 鎖と福音

---

シリーズ～続 福音の力～

2021/10/17



# 苦難覚悟でエルサレムへ！

- エフェソ教会の長老に遺言？を残す
  - 「投獄と苦難とがわたしを待ち受けている」20:23
- ティルスで弟子たちと過ごす
  - 「彼らは“霊”に動かされ、エルサレムへ行かないようにと、パウロに繰り返して言った。」21:4
- カイサリアでフィリポ宅に滞在する
  - エルサレムからやってきた預言者が「エルサレムでユダヤ人は、この帯の持ち主をこのように縛って異邦人の手に引き渡す」21:11と預言する
- パウロの決意
  - 「主イエスの名のためならば、エルサレムで縛られることばかりか死ぬことさえも、わたしは覚悟しています。」21:13

# 長老たちからの提案

- エルサレムに上り長老たちに報告する
  - 「パウロは挨拶を済ませてから、自分の奉仕を通して神が異邦人の間で行われたことを、詳しく説明した。」21:19
- パウロについての懸念を語る
  - 信仰に入った多くの(数万人)のユダヤ人たちが、パウロは「異邦人の間にいる全ユダヤ人に対して、『子供に割礼を施すな。慣習に従うな』と言って、モーセから離れるように教えている」と聞かされ、腹を立てている
  - パウロが律法を守っていることを証明するため、神殿で身を清め、捧げ物をしてはどうか



# 神殿で騒動が起こる

## ➤ 提案どおり神殿に参る

- 「パウロはその四人を連れて行って、翌日一緒に清めの式を受けて神殿に入り…」21:26

## ➤ アジア州からのユダヤ人たちに見つかる

- 「アジア州から来たユダヤ人たちが神殿の境内でパウロを見つけ、全群衆を扇動して彼を捕らえ、こう叫んだ。『イスラエルの人たち、手伝ってくれ。この男は、民と律法とこの場所を無視することを、至るところでだれにでも教えている。その上、ギリシア人を境内に連れ込んで、この聖なる場所を汚してしまった。』」21:27-28

# ついに捕らえられるパウロ

- 人々はパウロを神殿から引きずり出す
  - 「それで、都全体は大騒ぎになり、民衆は駆け寄って来て、パウロを捕らえ、境内から引きずり出した。」21:30
- 千人隊長が駆けつける
  - 報告を聞いた「千人隊長は直ちに兵士と百人隊長を率いて、その場に駆けつけた。」21:32
- パウロ、鎖につながれる
  - 「千人隊長は近寄ってパウロを捕らえ、**二本の鎖で縛るように命じた**。そして、パウロが何者であるのか、また、何をしたのかと尋ねた。」21:33



## 使徒言行録 21:37～22:24

パウロは兵營の中に連れて行かれそうになったとき、「ひと言お話ししてもよいでしょうか」と千人隊長に言った。…千人隊長が許可したので、パウロは階段の上に立ち、民衆を手で制した。すっかり静かになったとき、パウロはヘブライ語で話し始めた。「兄弟であり父である皆さん、これから申し上げる弁明を聞いてください。」パウロがヘブライ語で話すのを聞いて、人々はますます静かになった。パウロは言った。「わたしは、キリキア州のタルソスで生まれたユダヤ人です。そして、この都で育ち、ガマリエルのもとで先祖の律法について厳しい教育を受け、今日の皆さんと同じように、熱心に神に仕えていました。わたしはこの道を迫害し、男女を問わず縛り上げて獄に投じ、殺すことさえしたのです。…

「旅を続けてダマスコに近づいたときのこと、真昼ごろ、突然、天から強い光がわたしの周りを照らしました。わたしは地面に倒れ、『サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか』と言う声を聞いたのです。『主よ、あなたはどなたですか』と尋ねると、『わたしは、あなたが迫害しているナザレのイエスである』と答えがありました。一緒にいた人々は、その光は見たのですが、わたしに話しかけた方の声は聞きませんでした。『主よ、どうしたらよいのでしょうか』と申しますと、主は、『立ち上がってダマスコへ行け。しなければならないことは、すべてそこで知らされる』と言われました。わたしは、その光の輝きのために目が見えなくなっていましたので、一緒にいた人たちに手を引かれて、ダマスコに入りました。ダマスコにはアナニアという人がいました。律法に従って生活する信仰深い人で、そこに住んでいるすべてのユダヤ人の中で評判の良い人でした。



この人がわたしのところに来て、そばに立ってこう言いました。『兄弟サウル、元どおり見えるようになりなさい。』するとそのとき、わたしはその人が見えるようになったのです。アナニアは言いました。『わたしたちの先祖の神が、あなたをお選びになった。それは、御心を悟らせ、あの正しい方に会わせて、その口からの声を聞かせるためです。あなたは、見聞きしたことについて、すべての人に対してその方の証人となる者だからです。今、何をためらっているのです。立ち上がりなさい。その方の名を唱え、洗礼を受けて罪を洗い清めなさい。』さて、わたしはエルサレムに帰って来て、神殿で祈っていたとき、**我を忘れた状態になり、主にお会いした**のです。主は言われました。『急げ。すぐエルサレムから出て行け。わたしについてあなたが証しすることを、人々が受け入れないからである。』



わたしは申しました。『主よ、わたしが会堂から会堂へと回って、あなたを信じる者を投獄したり、鞭で打ちたたいたりしていたことを、この人々は知っています。また、あなたの証人ステファノの血が流されたとき、わたしもその場においてそれに賛成し、彼を殺す者たちの上着の番もしたのです。』すると、主は言われました。『行け。わたしがあなたを遠く異邦人のために遣わすのだ。』

パウロの話をここまで聞いた人々は、声を張り上げて言った。「こんな男は、地上から除いてしまえ。生かしてはおけない。」彼らがわめき立てて上着を投げつけ、砂埃を空中にまき散らすほどだったので、千人隊長はパウロを兵営に入れるように命じ、人々がどうしてこれほどパウロに対してわめき立ててるのかを知るため、鞭で打ちたたいて調べようにと言った。

# パウロの証し

- タルソス生まれ、エルサレム育ちのユダヤ人
  - 「キリキア州のタルソスで生まれたユダヤ人です。そして、この都で育ち…」
- ガマリエルの門下生として律法を学んだ
  - 「ガマリエルのもとで(ファリサイ派)先祖の律法について厳しい教育を受け…」
- 神に熱心に仕えるあまり「この道」を迫害した
  - 「わたしはこの道を迫害し、男女を問わず縛り上げて獄に投じ、殺すことさえしたのです。」



# ダマスコでの改心

## ➤ ダマスコでイエス様に出会う

- 「突然、天から強い光がわたしの周りを照らしました。わたしは地面に倒れ、『サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか』と言う声を聞いたのです。『主よ、あなたはどなたですか』と尋ねると、『わたしは、あなたが迫害しているナザレのイエスである』と答えがありました。』22:6-8

## ➤ アナニアに祈ってもらおう

- 「この人が…こう言いました。『兄弟サウル、元どおり見えるようになりなさい。』するとそのとき、わたしはその人が見えるようになったのです。』22:13

# エルサレムでの出来事

## ➤ イエス様との再会

- 「わたしはエルサレムに帰って来て、神殿で祈っていたとき、我を忘れた状態になり、主にお会いしたのです。」17-18

## ➤ イエス様からの指令

- 『急げ。すぐエルサレムから出て行け。わたしについてあなたが証しすることを、人々が受け入れないからである。』



# 異邦人のための器

## ➤ 迫害者としてエルサレム宣教を願う

- 『主よ、わたしが会堂から会堂へと回って、あなたを信じる者を投獄したり、鞭で打ちたたいたりしていたことを、この人々は知っています。また、あなたの証人ステファノの血が流されたとき、わたしもその場においてそれに賛成し、彼を殺す者たちの上着の番もしたのです。』19-20

## ➤ 異邦人のために遣わす

- 『行け。わたしがあなたを遠く異邦人のために遣わすのだ。』21
- > 異邦人の話をしたことで大騒ぎになる

# 鎖と福音

- 自らの運命を知らながらもエルサレムに向かったパウロ
  - 「投獄と苦難とがわたしを待ち受けている」20:23
- 彼の願いはイエス様のためになることだけ
  - 「主イエスの名のためならば、エルサレムで縛られることばかりか死ぬことさえも、わたしは覚悟しているのです。」21:13
- 縛られたことによって証しをする機会を得た
  - エルサレムの人たちに語ることが出来た
  - 囚人パウロの宣教旅行がここから始まる！
  - 最高法院＞ローマ総督(2人)＞王＞ローマ



# 鎖と福音

- 自らの運命を知らながらもエルサレムに向

か

兄弟たち、わたしの身に

- 彼

起こったことが、かえって

。

福音の前進に役立ったと

知ってほしい。

- 縛

(フィリピ1:12)

。エルサレムの人たちと話すことが出来た

。囚人パウロの宣教旅行がここから始まる！

。最高法院>ローマ総督(2人)>王>ローマ

23

ナ  
ら  
悟し

た